



あきまつ ふれあい秋祭り 2017

10月14日(土)に「ふれあい秋祭り 2017」が開催されました。
昨年引き続きあいにくの雨天となってしまいましたが、多くの方に来園していただき、とても有意義なひと時を過ごすことが出来ました。

ステージに出演していただいた各団体の皆さまのパフォーマンスは、入居者の方、職員や地域の方々を驚かせ、そして楽しませていただけるものばかりでした。また、模擬店や外部団体様の各店舗もとてもにぎわいを見せてくれていました。入居者の方と地域の方々が、同じ空間(日野療護園)で、一緒に楽しい瞬間と素敵な時間(交流)ができたことが、何よりも嬉しく感じました。

ボランティアで参加していただいた皆さまをはじめ、秋祭りにご協力いただいた関係者の皆さま、そしてご来園いただいた多くの方に心より感謝申し上げます。(記：小松)



ボランティア感謝祭&クリスマス会 (予告)

日頃のボランティアの皆さまへの感謝の気持ちと入居者の方に季節感(クリスマスの雰囲気)を味わっていただきたく、職員出し物、ピアノ演奏、ケーキ等をご用意してお待ちしております。

ボランティアの皆さまへは、詳細を追ってご連絡させていただきます。

日時：平成29年12月22日(金)

時間：9:30~11:30

場所：日野療護園 共通棟一階ホール(担当者)事業推進グループ 作山



もくさえんえきまえしょうてんかいあきまつ
百草園駅前商店会秋祭り

実施日：平成29年9月24日

会場 マジオドライバーズスクール多摩校



あきばなかもくさえんえきまえしょうてんかいあきまつしゅつてんきんか
秋晴れの中、百草園駅前商店会秋祭りに出店参加しました。
まつりさんかお祭りに参加された入居者の方は、日頃の日中活動やクラブ
かつどうなかつどう活動等で作成したアクセサリ、フォトフレーム、押し花、絵
てがみなどなどしなしなちいきかたがたふあはんばい
手紙、バンダナ等々の品々を地域の方々と触れ合いながら販売
しました。多くの地域の方々に賑わう中で、買い物や飲食も大
いに楽しめました。(記：柴田)



ふくしききてんぼうこく
福祉機器展報告



9月下旬に開催された国際福祉機器展に参加してきました。

機器展では、福祉車両から車いす、ホイスト、介護食、ベッドに至るまで様々な福祉用具が展示されていました。その中でも、職員からアンケートを取り、リクエストいただいた福祉用具を中心に見学と参考資料を集めてきました。職員から意思伝達や食事関係など6項目に分かれるリクエストをもらった中で、ここでは体位交換関係とホイスト・ネットの新しい物を紹介いたします。

クッションのずり落ち防止機能が優れたものに関して、現在園で使用しているROHOクッションがベターであると、メーカー側から回答を頂きました。一方でSTIMULITEのクッションはROHOのものよりずり落ち防止機能が優れている、というお話も聞くことができました。

ホイスト・ネットの新しい物に関して、充電不要のホイストベルトがABIRITIESから出店されていました。充電し忘れ、などによるヒューマンエラーから生じるヒヤリハット、アクシデントを一つでも減らせる可能性があります。

今後、入居者様の生活の質を向上させるため、職員の手技を向上させるとともに、必ず起こるヒューマンエラーから生じるアクシデントを物理的に防ぐための福祉用具の模索と導入を勧めていきます。(記：松下)



うんどうかい
みんなといっしょの運動会

10月1日（日）に日野市社会福祉協議会主催のみんなといっしょの運動会に中央大学多摩キャンパスまで行ってきました。今年の入居者の方3名が参加しました。

最初は皆さん緊張している様子でしたが、開会式が終わり競技に入ると真剣な面持ちで参加していました。

参加できた競技は、大玉転がし、借り物競争、パン食い競争、ダンス、玉入れでした。

パン食い競争では、ある参加者はお腹が減っていたのか？、口で取るはずのパンを手で取り食べた時にはとても良い笑みを見せていました。玉入れには、入居者の方3人は同じチーム（赤組）入り、対戦相手である白組に負けないように一生懸命に頑張っていました。



今年ブラインドサッカーの日本代表選手にゲストとして来ていただき、閉会式には各団体にサイン入りのサッカーボールを記念にプレゼントしてもらいました。園のC介助員室に飾っておりますので一度ご覧になって下さい。この運動会を通してまた一つ、障害を持った方の社会参加、さらにはスポーツを通じての友情と心のバリアフリーの意識が一層高まったと思います。来年も是非、参加したいと考えております。協力していただいた皆さま、本当にありがとうございました。（記：植木）



そうごうぼうさいくねん
総合防災訓練

9月29日（金）に地域との防災協力関係を深めるとともに、防災に対する知識・技術の向上を図ることを目的とした総合防災訓練を実施しました。

今回は、日中に地震が発生した事により、A棟生活棟の入居者宅から火災が発生したという想定で行いました。全入居者の方が避難対象で、園職員他落川上自治会・百草園団地自治会より7名のボランティアの方と日野消防署（高幡出張所）の方が来られ、訓練に参加していただきました。



訓練では、皆さん真剣に防災担当からの説明を聞いており、一生懸命に協力し取り組まれていました。

起震車体験では、震度7程度までの揺れを体感出来る車に乗り、実際に肌で揺れを体験しています。一番強い揺れでは机に掴まっている事がやっとという感じで身体の自由がきかず、実際起こるとすると恐怖を感じました。

放水訓練では、園の自衛消防隊による屋内消火栓を使用しての一斉放水や水消火器を使用しめがけて放水をしました。実際の火事に備え、誰でも消火器を使えるよう何度も訓練を重ねる事が大事だなと感じました。

訓練後には消防署職員から全体を見学しての講評をいただきました。講評を元に次回の訓練に向けて防災部会で話し合い、より良い物になるようにしていきたいと思います。

今回、日野療護園職員だけではなく落川上自治会、百草園団地自治会、日野消防署（高幡出張所）の協力もあり職員・入居者の方、職員ともに怪我無く無事に終えることが出来ました。

来年も協力体制を密にし、実際の災害に対応出来るように訓練を行ってきたいと思っております。（記：田中直）

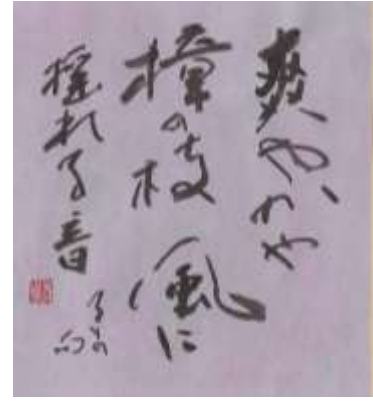




本郷の
しばられ地蔵
秋暑し
洋子の句



古き鳴く
湯舟の温度
一度上げ
紀美の句



爽やかや
樟の枝風に
揺れる音
るりの句

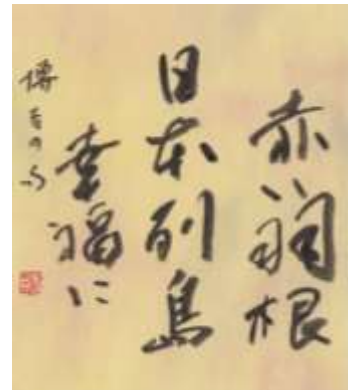
俳句 (木の実の会)



白雲を
透かして月の
在処かな
明子の句



秋祭り
歌う買う
自分
麻美の句



赤い羽根
日本列島
幸福に
博吉の句



赤梨や
小麦色した
ふうらはぎ
八枝子の句

